かしわざき

# 教育センター・育成センター所報

# GALILEI

ヒメシジミ（志賀高原にて撮影）

## CONTENTS


○今月の巻頭言 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ Ｐ１
　★「つながる、ひろがる」
　　教育センター運営委員
　　柏崎市立瑞穂中学校　養護教諭　塩浦　栄子
○教育センターだより
　★アクセス（教育研究班） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ Ｐ２
　★プロジェクト Ｋ（科学技術教育センター）・・・・・・・・・・ Ｐ５
　★心の窓（教育相談班） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ Ｐ９
○１０月の行事予定表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ Ｐ１１
○所員随想「つれづれ」 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ Ｐ１１
　★ヒカリゴケ　科学技術教育センター協力員　近藤　亜矢子



平成２６年９月号

柏崎市立教育センター　柏崎市青少年育成センター

今月の巻頭言

# 「つながる、ひろがる」

教育センター運営委員
柏崎市立瑞穂中学校
養護教諭　塩浦　栄子

昨年から、この教育センター運営会議を始めとして、要保護児童対策地域協議会、学校保健会理事会など、今まで馴染みのなかった会議に参加させていただくようになりました。それにより、地域で学校を支えてくださっている様々な職種、団体の皆様との出会いが増え、視野が広がり、子どもたちへの支援の可能性が広がったと思います。

保健所の担当者から、妊娠期からの各ステージにおける地域情報交換会というお話をいただいたことをきっかけに、身近な社会資源を紹介したいと考え、昨年の学校研の学校保健教育部会では、「つながる、ひろがる」というテーマで、地域の関係機関の皆様をお招きしての研修を計画しました。教育センターからは、カウンセリングルームやふれあいルームの様子について、柏崎特別支援学校からは、支援部による不適応児童生徒のアドバンス等について、子育て支援センターからは、機能不全家庭へのアプローチについて、保健所からは、母子保健対策や精神保健対策についてお話をしていただきました。短い時間ということもあり、学校と関係機関がどう協力体制を築いていくかまで深めていくことはできませんでしたが、参加者からは、子供たちへの対応で、どのような関係機関と連携をとっていけばよいか考えるヒントになったという声や、さらにＮＰＯ法人などの方からもお話を聴きたいという声も聞かれ、有意義な研修会となりました。そして、日々変化する社会や複雑な家庭環境を背景に、様々な特性をもつ子供たちを支援していくにあたり、このような社会資源を有効に活用していくことの必要性を強く感じる機会となりました。

話は違いますが、この夏受講した研修会で、何人かの同年代の先生方から、現職を退いた後に何をしたいかという質問に、口をそろえて「ボランティア」という言葉が出ました。「小学校で読み聞かせ」「福祉施設で楽器の演奏」「地域でのボランティア」など、内容はいろいろでしたが、今まで自分たちが支えていただいたのでお返しをしたいというものでした。私は、学校に一人だけの養護教諭なので、春の健康診断や救急法など、今までの経験や専門性を生かして、「バーバ（婆）の会」として現職の若い仲間を応援できたらと考えています。私たち自身が、一つの社会資源として積極的に活用されることで、社会と「つながり」世界を「ひろげる」ことができるのではないかと思います。

# ア　ク　セ　ス

## ■研修講座より

### 先生、わたしたち外国語に親しんだよ！　・・・ねらいが達成されたか全員で協議する

◆9/8（月）小学校外国語活動授業公開　授業者：北条小学校　青柳　みゆき　教諭

この講座では、北条の風景を一望できる北条ホールを会場に同校青柳みゆき先生から「外国語活動」を公開していただきました。「桃太郎の英語劇をしよう！」という課題のもと、次々と仲間と出会う場面を設定し、外国語に親しみコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を目指したものです。自校の研究主題「自ら考え、進んで表現する子どもの育成～「かかわり合い」の工夫を通して」も意識したものでした。導入ではチャンツでせりふに慣れ親しむ活動を行い、引き続き交流の必然が生まれる「シークレットカードゲーム」を行いながら子どもの表現への意欲を高めました。

展開ではグループごとに桃太郎とオリジナルキャラクターとの出会いを４回繰り返し、その都度、子ども同士の評価を入れました。自ら上達していこうとする子ども達の姿がはっきりと見とれました。

めあて確認後、チャンツやゲームで導入を図る青柳先生

グループごとに桃太郎とオリジナルキャラクターが出会い会話

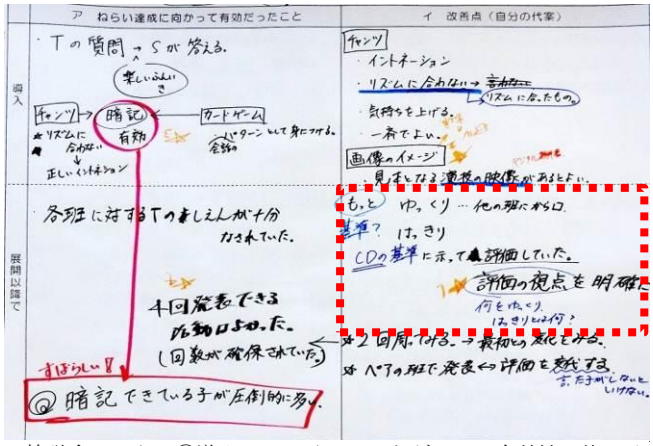
協議会では、青柳先生からねらいの補足説明後、全員参加による「ねらいを検証する、発散－収束－共有型協議会」を８班で行いました。以下に内容をします。

①分担した全員分のねらいの達成度を個々にＡＢＣ評価。

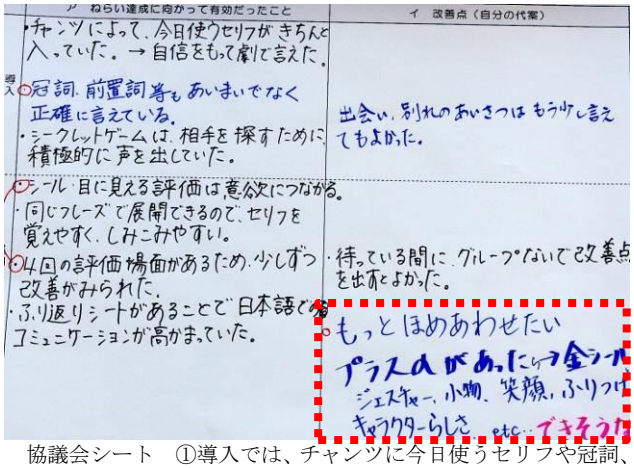
②ねらい達成に向けて効果的だったことと改善点（代案）を、導入と展開以降で分けて出し合い紙に記入。（意見の発散）

③結果を全てのグループから発表してもらい、スクリーンにテキストで掲示。授業者と意見交換を行いながら成果と課題を明確にしていく。（収束、共有）

代表的なグループ協議の記録と説明を以下に示します。



協議会シート　①導入では、チャンツとゲームの有効性の他、イントネーションとの整合性や映像見本の提示を代案として提案。②展開では、活動回数が確保されており支援も適切だった一方、「はっきり」等、評価の視点を明確にしておくという代案提案があった。



協議会シート　①導入では、チャンツに今日使うセリフや冠詞、前置詞があり自信につながったとある。　②展開では、４回の発表回数だけでなく、その間に振り返り活動を入れたことの効果を指摘、一方、＋α（さらなる工夫点）を引き出す代案提案があった。

橋立英基指導主事からは、「実態に基づいた単元計画の中で考え抜かれた本時であり、チャンツやコミュニケーションの必然性が出るゲームも有効であった。セリフの中にオリジナルを入れ込める設定で、授業づくりに創造性が感じられた。今後、CD を見本とするなど、ゆっくりはっきりとはどういうことかをつかませたり、聴衆を意識した表現などゴールイメージを具体的にしていくと、表現する喜びを強く感じることができると考える。自分たちのアドバイス場面もあり、今後の彼らが自立した学習者として成長できる、学び多いすばらしい授業であった」との指導がありました。

## 「教材観」、「教材の論理」をしっかりともって　～今、教材研究力を高めよう！～

**◆9/11（木）国語示範授業　講師：筑波大学附属小学校教官　白石　範孝　様**

この講座は、筑波大学付属小学校の白石範孝先生をお招きしての講座でした。半田小学校の体育館を会場に、４年生（串田良子先生の学級）を対象とした師範授業とその後の講義という内容でした。

示範授業は半田小学校の体育館を会場に行いました

第一部の師範授業では「ムササビの秘密」という教材で３つの段落に分ける活動でした。段落分けが自分と他者とでズレている事実をうまく取り上げ、問題意識を高めた上で展開する授業となりました。子どもたちの学習へ向かう構えも大変素晴らしかったです。

第二部の講義で白石先生は「国語は原理原則が曖昧で、いろいろな考えがあっていいと思われがちだが、算数や理科と同じように、考える際の根拠があるべき」とのご指導をいただきました。例えば「『要点をまとめなさい』というが、その『要点』とはどういうものか、『まとめる』とはどうすることのか、子どもの中で明確になっている必要がある」とのご指摘もありました。そのためには教えるべき用語やきまりはきちんと教え、子どもが根拠をもって考えていけるようにすることが大事だと語られました。

教材のもつ価値理解を重視する白石先生

また、「問題意識を生じさなければ『問題解決学習』はスタートしない。子どもの意識の中に、仲間との考えのズレが生じた時がその瞬間」ということを、実際に参加者が段落分けをする活動を通して実感させてくださいました。これらを通して強調されていたことは「教材の論理」を教材研究でしっかり理解することの重要性です。「教材のもつ価値、この教材ではどんな力を身に着けさせることができるのか、を明確にもつことで、教師は自信をもてる。今、教材研究力が問われている。学力の定着は授業を見直し変えていくことで図られる」とも語っておられました。

## こんなに良いもの、もっと使っていかなくては・・・

**◆9/18（木）中学校社会・19（金）中学校国語のデジタル教科書の使い方**

この講座は、デジタル教科書の機能を学んだあと、実際の授業場面で活用することを想定して模擬授業を行うなどして開催しました。その中では、二人一組になりながら「こんな使い方もできそう！」と使い方を開発してる場面もありました。参加者の感想には「こんなに良いもの、生徒にとって授業がわかりやすく楽しくなるものをもっと使っていかなければ…と強く感じました」「隣同士で具体的な指導場面を想定しやりとりができたことが大変有意義だった」等、今後の活用が期待できる講座となりました。

有効な使い方を話し合われている様子

子どもに「ICT 係」の役を与え、前時の先生からの指示だけで準備を完了している学校もあります。子どもの学びに確実に有効だと思われる場面は一単元に数時間はあるはずです。一層の活用に期待しています。

## ■ 柏崎教育情報支援システム/コンテンツサーバ情報

### 資料を登録しました

◆柏崎教育情報支援システム

| 実施日 | 講座名／資料名 |
|---|---|
| 8/21 | Excel マクロ入門1<br>Excel2010 マクロ入門 1 .pdf（第 3 版）<br>Excel マクロ入門 1 例題.xlsm（演習用例題） |
| 8/21 | Excel マクロ入門2<br>Excel2010 マクロ入門 2 .pdf（第 3 版）<br>Excel マクロ入門 2 例題.xlsm（演習用例題）<br>Excel マクロ入門 2 例題_マクロ例.xlsm（演習用例題マクロ完成例） |
| 8/22 | Excel マクロ入門3<br>Excel2010 マクロ入門 3 .pdf（第 3 版）<br>Excel マクロ入門 3 例題.xlsm（演習用例題） |
| 9/17 | Word 活用4<br>Word2010 活用 4 .pdf（第 3 版）<br>Word 活用 4 演習用例題.docx |

## ■ 情報関連講習会のご案内

### 10 月に実施される講習会

◆H26.10.21(火) 大型プリンタによる長尺印刷入門

教育センターに整備されている長尺印刷用の大型インクジェットプリンタ（EPSON MAXART）について、横断幕・看板の印刷やワープロ文書の拡大印刷の手順を学習します。MAXART を使用すると

1. 横断幕、立て看板の作成（幅 61cm で最大 15m までの大きさ）
2. 文書の拡大出力（A1 ノビまで、ポスター印刷でさらに大きくもできます）
3. 紙原稿の拡大コピー（ 同上 ）

などが可能です。

◆H26.10.29(水) 疑問やトラブルに答える フリーQ&A その5

ICT 活用に関すること、パソコンのトラブルや疑問など、自由に相談できる機会を設けました。他の講座のような事前申し込みは不要ですが、前日までにメールや電話で相談内容をご連絡ください。

## ■ セキュリティ情報

### セキュリティホール情報

マイクロソフトより、9 月 10 日付で 9 月の定期更新として、Windows などの重要な更新が公開されました。最大深刻度「緊急」が 1 件、「重要」が 3 件です。まだ Update が済んでいないようでしたら、至急 Windows Update などを実施していただくようお願いします。

### Adobe Reader のアップデートに注意してください

Adobe Reader の最新バージョンはXI（11.0.08）ですが、柏崎市の環境では正しく動作しないことがあります。導入時にバージョンXがインストールされた状態になっていますので、10.x.x へのアップデートは問題ありませんが、XIがインストールされないように注意してください。

## 【研修会・事業の様子】

### *実物をみることでより実感を伴った理解に！*

**◇８月１９日（火）　中２「動物の世界」　講師　東中学校　金井　勇輝　様**

前半は、生物分野を指導する上で押さえたいポイントや簡単な指導上の工夫をセンター職員の方から紹介し、後半は金井先生からイカの解剖の指導をしていただきました。

教科書にも紹介されているものですが、実際に解剖することが初めての方も多く、一つ一つの器官を確認したり、消化管のつながりを口からしょうゆを通すことで実感したりなど学ぶことの多い研修となりました。途中イカスミが噴き出すハプニングもありましたが、最後には解剖し終わったイカを焼いて食べ、和やかに研修を終えることができました。

イカの解剖に挑む先生方
失敗してイカスミが噴き出す場面もありました。

**参加者感想**

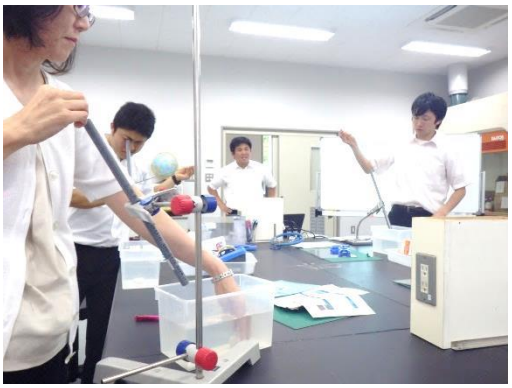
**「イカの解剖は教科書にもあり、やってみたいと思ってはいましたが、やったことがないために不安が多く避けてしまっていました。今日はその不安が払拭する研修でした。消化管が一本につながっていることも実感でき、非常に感動しました。」**

### *日常にもどり関連させることで、物理現象を楽しく学習してみよう！*

**◇９月１７日（水）　中１「身のまわりの現象～光と音～」　講師　東中学校　金井　勇輝　様**
**（南中学校　石原　明　様）**

前半は、日常生活と関連付けながら進めていく指導の工夫をセンター職員が紹介し、後半は金井先生から実践紹介をしていただきました。

光の屈折の学習で生かせる「水中射的」は生徒が興味をもって取り組みやすい実験であり、現象を言葉で説明するためにも有効な活動でした。また、今回都合で参加できなかった南中学校の石原先生からは紙面紹介ということで簡単なモノコードづくりの紹介を頂きました。また最後に参加した先生方それぞれの実践紹介もいただき、充実した研修となりました。



水中射的の実験をする先生方

**参加者感想**

**「日常生活の中の事象とつなげて「考える⇒説明する」この過程を大切にしていきたいと思いました。ハーフミラーの教材紹介はとてもよかったです。ぜひ、活用したいと思いました。」**

ハーフミラーを 20 枚用意します。貸出可能です。また、材料費のみ負担していただければおつくりします！希望の学校はセンターまで連絡ください。

## *ジオパーク糸魚川で、岩石を見ながら大地の歴史を感じる一日*

**◇９月２０日（土）　上越地区合同野外研修会～もう一つのヒスイ峡「橋立ヒスイ峡」周辺観察会～**

**講師　古見　浩　様（糸魚川市ジオパーク認定ガイド）**

「小滝川ヒスイ峡」で有名な糸魚川ジオサイトですが、今回はもう一つのヒスイ峡である「橋立ヒスイ峡」周辺で研修を行いました。フズリナの化石採集、砂金の採集など体験しました。ここで採集できるフズリナはペルム紀に生きていたものだそうで、ごろごろ転がっている石灰岩の表面に見えていて、児童生徒がここにきたら興味関心がわくだろうなあと思える場所でした。また、砂金の採集をした場所は佐渡金山の歴史より古く、上杉謙信の時代に貴重な財源となっていたものだそうです。大地の歴史と地球内部の大きな力を感じる一日でした。

サンゴやフズリナが化石として見つかる仕組みを説明する古見先生。

**参加者感想**

**「狭い地域の中でたくさんの種類の石が見れたこと、石灰岩だけで一つの山になったものを見て（それだけの生物が海底の中で堆積したということ）地球の壮大なスケールを感じて感動しました。」**

## *自然放射線と人工放射線、放射線の性質から命の守り方まで・・・・*

**○要請研修「放射線教育」　９月 10 日（水）実施　内郷小学校３年生**

放射線測定器ベータちゃんを使って身の回りに放射線が飛んでいることを知った子どもたち。目に見えない放射線の特徴を学びました。多量に放射線が放出された時、人体に与える影響、怖さを学び自分の命の守り方を考え、話し合いました。

**参加者感想**

**「食べものの中にも少し放射線があるのがびっくりしました。放射線は少しの量なら大丈夫だけれど、たくさんあびると怖いと思いました。」**

霧箱を使って放射線の飛んだ跡を観察中。

**申し込みは今からでも可能です！**

## 【１０月の研修会のご案内】

### ○秋の植物観察会「小さな命のカプセル種子に秘められた力を感じよう」

◇日　　時　１０月１６日（木）１５：００～１６：４５
◇会　　場　柏崎市立教育センター周辺
◇講　　師　相澤　陽一　様（柏崎植物研究グループ）
◇内　　容　秋の野山を散策しましょう。種子や実に着目しながら植物を観察します。植物たちの巧みに生きる戦略を相澤先生より学びます。実や種を使ったネイチャーゲームも紹介します。子どもたちに、この講座で得た知識や驚きを伝えてみませんか。

### ○小５「人のたんじょう」

◇日　　時　１０月２９日（水）１５：００～１６：４５
◇講　　師　小林　多佳子　様（刈羽村教育委員会指導主事）
◇内　　容　児童にとって「人のたんじょう」の単元は、目に見える身のまわりの事象に比べ、意識しづらい単元です。児童がもった学習課題に向かって意欲的に調べ学習を進める工夫を一緒に考えたり、提案したりします。そして、生命誕生の神秘性や素晴らしさを児童に感じさせるための授業づくりについて考えます。

## ○第 49 回柏崎刈羽地区児童生徒科学研究発表会

◇日　　時　１０月８日（水）

◇内　　容　小中学生が夏休みに取り組んだ科学研究の成果を発表する場です。多くの皆さんからの参加をお待ちしています。参加してくれた児童生徒さんには記念バッジが贈られます。今年のバッジも素敵な仕上がりです。今年のバッジのデザインと意図を紹介します。

小学校時代、夏の初めに飼育箱に収めたキアゲハの幼虫。まもなくしてさなぎになった。１月下旬に羽化。雪景色に放つわけにもいかず、動かなくなった。捕まえなければ自然界で適した季節に羽化して寿命を全うできたのに、かわいそうなことをしてしまったと悔やんだ。

３０年後、息子が私に言った。「お父さん、１７年ゼミって知ってる？１７年も幼虫で土の中で過ごすんだ。はかない命って言うけど、幼虫の形が本当の姿で、子孫を残すために成虫の形に変身するんだよ。」その言葉を聞き、一瞬でキアゲハの後悔から救われた感がした。

昆虫は恐竜より古い、今から２～３億年前にはすでにトンボの祖先が大繁栄していた。現在、知られている生物種の半分以上は昆虫である。完全変態*1を行う種は、配偶者*2を求めて行動範囲を広げるために、さなぎの中で諸器官*3を分解して新しく形態生成*4を行う。このように、昆虫にまつわる話だけでも地球の歴史や進化、生物学のロマンが感じられる。

（＊１：今までと別の姿になること　＊２：結婚する相手　＊３：手足や目、内臓など　＊４：目や足などの器官を作ること）

ネット社会の現在、たくさんの子どもたちに、身近な事物・現象から科学的なロマンを感じてほしいという思いでデザインしました。

田上町立 田上中学校　教諭　吉田　政博

**◇申し込み方法**

**９月 25 日（木）**学校ごとにメールで発表者申し込み

**10 月　１日（水）**職印文書と研究概要（Ａ４・１～２枚　１５０部）センター必着

**10 月　３日（金）**ＰＣデータを使用する場合は、ＣＤ－Ｒでセンターへ提出

子どもたちのがんばりを当日たくさんの方に見てもらいたいと思います。学校を代表して発表する児童生徒のおうちの方にもご連絡ください。会場はセンターを予定しています。（事前に発表順とおおよその発表時間をメールにてお知らせします。）

～入賞おめでとうございます！～

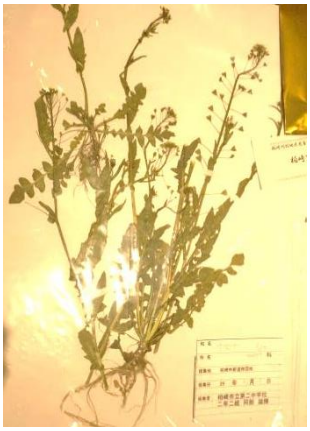
## 第 49 回児童生徒科学作品展審査結果発表

☆出品してくださった先生方ありがとうございました。２４・２５日の作品搬出もよろしくお願いいたします。金賞以上の作品についてはぜひ、上位大会（県生物標本展およびいきいきわくわく科学賞）への出品をお願いします。

⇒低学年で、理科の課題に積極的に取り組んでくれた児童の作品は、今後の可能性を広げるためにも遠慮せずに、どんどん出品してみてください。

| 賞 | 特別賞 | 部門 | 小部門 | 学校名 | 学年 | 氏　名 | 題　　目 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 金 | 柏崎市長賞 | 昆虫 | | 県立柏崎翔洋中等教育学校 | 1 | 山﨑　智晴 | カミキリムシの標本 |
| 金 | 柏崎市教育長賞 | 植物 | | 柏崎市立第二中学校 | 2 | 阿部　雄輝 | 柿畑の下草 |
| 金 | 刈羽村教育長賞 | スケッチ・自然科学写真など | 観察記録 | 柏崎市立比角小学校 | 4 | 湯本　佳奈 | スズムシの生育観察記録 |
| 金 | 新潟工科大学賞 | 植物 | | 柏崎市立槇原小学校 | 6 | 駒野　妙 | 山野草の植物標本 |
| 金 | 柏崎商工会議所会頭賞 | 植物 | 海藻 | 柏崎市立第三中学校 | 1 | 近藤　梨乃 | 柏崎の海藻標本 |
| 金 | 柏崎青年工業クラブ賞 | 昆虫 | | 柏崎市立比角小学校 | 5 | 山﨑　開智 | 柏崎地域に見られるカミキリムシ類とその他の甲虫類 |
| 金 | 市立博物館賞 | 貝 | | 柏崎市立半田小学校 | 4 | 矢代　和 | 柏崎の貝 |
| 金 | 市立教育センター賞 | 昆虫 | | 柏崎市立瑞穂中学校 | 3 | 江口　一馬 | 柏崎の甲虫　2013～2014 |
| 金 | | 植物 | | 柏崎市立剣野小学校 | 4 | 森山　菜桜 | 新赤坂の夏の植物 |
| 金 | | 植物 | 海藻 | 柏崎市立米山小学校 | 5 | 近藤　真央 | 海藻標本 |
| 金 | | 植物 | | 柏崎市立第二中学校 | 1 | 田邉　郁乃 | 休耕田に生息する植物 |
| 金 | | 植物 | | 柏崎市立第三中学校 | 1 | 小林　峻也 | 自宅周辺の植物 |
| 金 | | スケッチ・自然科学写真など | 観察記録 | 柏崎市立田尻小学校 | 1 | 長井　美月 | あさがおかんさつにっき |
| 金 | | スケッチ・自然科学写真など | 調べ学習 | 柏崎市立剣野小学校 | 2 | 長澤　潤 | ちょうのひょう本　りんぷんについて |
| 金 | | スケッチ・自然科学写真など | 調べ学習 | 柏崎市立比角小学校 | 3 | 本間　美那 | やさいやくだものでぬのがそまるか |
| 金 | | スケッチ・自然科学写真など | 調べ学習 | 柏崎市立大洲小学校 | 3 | 村山　依織 | 米山登山道にあるきのこ |

おうちの人と名前調べ会にきて熱心にラベルをつけました。



しっかり押しがされていい作品に仕上がりました。

たくさんの種類を採集しました。ていねいな仕上がりで超大作です。

今年は 142 作品集まりました。小学校 17 校、中学校 6 校の参加。ご協力ありがとうございました。次は科学研究発表会。学期末でお忙しい毎日かと思いますが、児童生徒のがんばりを多くの人に広め、発表力をつけるのにはいい機会です。児童生徒の科学の芽を引き出していきましょう。

標本にもいろいろあるのですね。
ぜひ、作品展に足を運んでください。

平成２６年度　柏崎市立教育センター　　教育相談班だより　９月号

# 心の窓

No.１８１

〒９４５－１３５５
柏崎市大字軽井川４８０３－２
ＴＥＬ　０２５７（２３）４５９１（代表）
ＦＡＸ　０２５７（２３）４６１０
E-mail　soudan @ kenet.ed.jp

## 学校訪問相談

＜教育相談＞

学校訪問相談では、主に、下記の相談を実施しています。

### １　定期学校訪問相談

年１回、柏崎市内全小中学校を訪問しています。小・中学校を合わせて平均すると、今年度は相談内容の割合は下記のようになりました。　※（　）内は昨年度数値

| 相談内容 | 特別支援（通常学級在籍） | 不登校傾向 不登校 | 学級経営 学習指導 | 生徒指導 | 特別支援（支援学級在籍） | その他 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 件数 | ３２件(27) | ３５件(14) | ７件(5) | ３件(1) | ３件(6) | １件(1) |
| 割合 | ５０％(50) | ３５％(26) | １７％(9) | ７％(2) | ７％(11) | ２％(2) |

**【ゲームの及ぼす弊害】**

今回の訪問では、標記のことが大きな問題としてクローズアップされました。ゲームは、ゲーム機を始め、携帯電話やスマートホンを用いてすることが出来ます。もちろんゲームをすること自体は問題ありません。しかし、不登校傾向の子どもの実態を見ると、家に居る時はゲームをして過ごすことが多いようです。初めは、昼間だけで済んでいたものが段々はまり出し、夜になり、ついには夜中までするようになります。そのため、朝起きることが出来なくなり昼夜逆転になってしまうケースが多く見られました。結局、生活でリズムが崩れてしまい登校できなくなってしまいます。

気になるのは、この様になるだろうと予想されるのに、保護者の方が買い与えるということです。その理由の一つに、「買ってくれたら学校へ行く」という子どもの言葉です。親の気持ちもわからないわけではありませんが、子どもの言いなりになるのではなく、それを与えることでどうなるかをよく考えた上で、どうするかを決めることが大切です。

また、与えたなら、『時間を決める、守れなかったら取り上げる』等、子どもときちんとルールを決めることが大切です。そして、ルールを守れなかったら取り上げる強い意志も持っていただきたいと思います。登校できない状況があったとしても、家での生活リズムをきちんとしておくことが何よりも、学校復帰をするための大事なことの一つです。

ゲームに限らず、今はいろいろなものが手軽に手に入り、それにのめり込んでしまう危険が子どもの周りにはたくさんあります。保護者も子どもとしっかり向き合っていただきたいと思います。

### ２　要請学校訪問相談・学校サポート協議会

定期訪問と並行して、要請訪問や学校サポート協議会を実施しています。要請訪問は、通常学級に在籍する特別支援を要する児童・生徒への対応と学級経営、授業改善等を主眼に置いています。

学校サポート協議会は、教育センター利用児童生徒にかかわる学校職員、教育センター担当カウンセラー・ふれあいルーム指導員・訪問相談員、元気館や主任児童委員等で協議します。情報を共有し、それぞれが今後の具体策を検討し合います。

**お電話等で連絡いただければ、訪問させていただきます。（派遣申請等の書類は不要です）**

（　文責　学校訪問相談員　春川　稔　）

# ☆☆☆ふれあいルームより☆☆☆

## ≪妙高宿泊体験活動≫

**みんなで力を合わせて！**

今年も９月９日、１０日の一泊二日で「国立妙高青少年自然の家」へ行ってきました。事前にオリエンテーションを行い、係りを決め、日程や活動内容の確認などをしました。

体験活動１日目は講師の「金ちゃん先生」のご指導で「アドベンチャープログラム」に挑戦！みんなの口から「大丈夫？」「がんばって！」「できるよ！」と相手を思いやる暖かい言葉が自然と出て、仲間を信じ、助け合うことの大切さをあらためて知ることができました。夜はキャンドルを囲み、今までの振り返りや、これからの自分について考え、みんなで心を通わせながら話をしました。

**妙高山を眺めながら「朝の集い」**

いつもは言えない心の中の言葉も全部出しきって、すっきりした表情になっていました。その後、ゲーム係が考えたゲームで盛りあがりました。

２日目は白樺の壁掛け作り。一緒に過ごした時間の中で関係も深まり、会話を弾ませながら和やかな雰囲気で作業をし、素敵な作品ができあがりました。

教育センターのふれあいルームを飛び出し、秋の気配が感じられる自然の中で、心も体も解放され、エネルギーをたっぷり充電できたとても貴重な２日間でした。

（ふれあいルーム指導員　須藤直子）

---

## 教育相談班　10月の予定

### ≪カウンセリングルーム≫

いろいろ体験グループ（SST）

３日（金）16:30～17:30　小学生Ａグループ
１０日（金）16:30～17:30　小学生Ｂグループ
１７日（金）16:30～17:30　小学生Ｃグループ
２３日（木）18:30～20:00　中学生第１グループ
２４日（金）18:30～20:00　中学生第２グループ

### ≪ふれあいルーム≫

9/30～２日（火～木）　三者面談
３日（金）　前期通級終了日
７日（火）　後期通級開始日
７～１０日（火～金）　学校訪問
９日（木）　ソフィアセンター
２４日（金）　陶芸教室　①

## 10月の行事予定表

| 日 | 曜 | 研修・行事・会議 |
|---|---|---|
| 1 | 水 | ふ:三者面談 |
| 2 | 木 | 研:ゲートキーパー育成講座<br>ふ:三者面談 |
| 3 | 金 | 研:授業づくりゼミ①（比角小）14:00-<br>相:いろいろ体験グループ小A16:30-　ふ:前期通級終了 |
| 4 | 土 | |
| 5 | 日 | |
| 6 | 月 | 研:子どもとの関係づくりに悩む先生のための学級づくり講座<br>ふ:後期通級開始･学校訪問　育:下校育成 |
| 7 | 火 | 研:すぐにできるキャリア教育<br>ふ:学校訪問　育:下校育成 |
| 8 | 水 | 科:第49回柏崎刈羽地区児童生徒科学研究発表会(教育センター)13:00-　ふ:学校訪問 |
| 9 | 木 | 研:不登校コンサルテーション③<br>ふ:ソフィアセンター･学校訪問 |
| 10 | 金 | ふ:学校訪問<br>相:いろいろ体験グループ小B16:30- |
| 11 | 土 | 育:小ＰＴＡ育成 |
| 12 | 日 | |
| 13 | 月 | 体育の日 |
| 14 | 火 | |
| 15 | 水 | |
| 16 | 木 | 科:秋の植物観察会15:00- |
| 17 | 金 | 研:柏崎カリキュラムシート作成･活用研修会15:00-<br>相:いろいろ体験グループ小C16:30- |
| 18 | 土 | |
| 19 | 日 | |
| 20 | 月 | 相:班会議13:00-<br>育:昼間育成 |
| 21 | 火 | 研:槇原小学校NIE指定研究発表会13:30-<br>情:大型プリンタによる長尺印刷入門 |
| 22 | 水 | |
| 23 | 木 | 研:英語教材研究<br>相:いろいろ体験グループ中①18:30- |
| 24 | 金 | 研:高柳小学校特別活動指定研究発表会13:30-<br>ふ:陶芸教室①柏崎駅集合･解散(8:49～15:12)<br>相:いろいろ体験グループ中②18:30- |
| 25 | 土 | |
| 26 | 日 | |
| 27 | 月 | |
| 28 | 火 | 研:中学校数学デジタル教科書の使い方 |
| 29 | 水 | 研:図書館教育講座(ソフィア)①13:20-/②15:10-<br>情:フリーQ&A　科:小5「人のたんじょう」15:00- |
| 30 | 木 | |
| 31 | 金 | 研:子どもの虐待防止講演会(市民プラザ)14:00-<br>育:夜間育成 |

研:教育研究班　科:科学技術教育　相:教育相談班

ふ:ふれあいルーム　情:情報教育研修　育:育成センター

### ヒカリゴケ

科学技術教育センター協力員　近藤　亜矢子

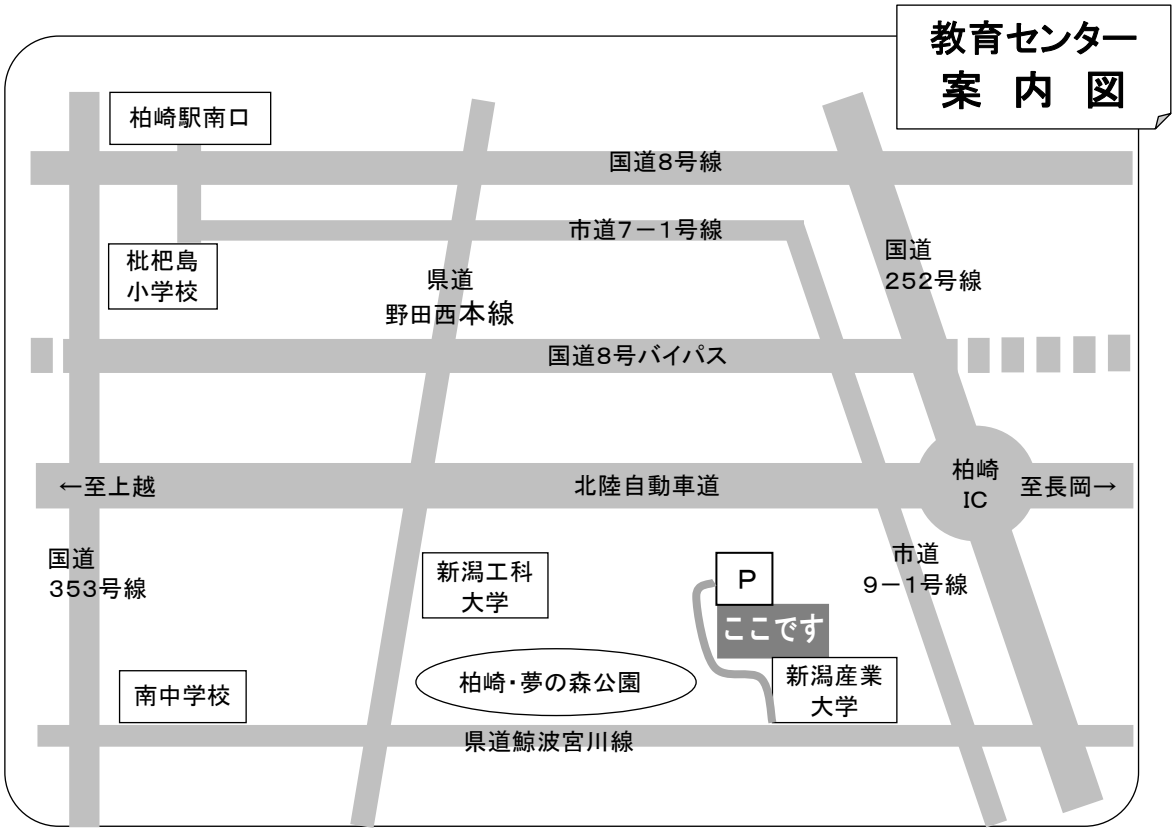
ヒカリゴケはその名前が示すように、洞窟や岩陰、倒木の陰など暗く湿ったところでエメラルドグリーンに光るコケ植物です。これを志賀高原にある東館山植物園内で保護されて育っているのをみてから、私は興味をもちはじめました。いつか植物園内ではなく、ふつうのトレッキングコースの中で自生しているものがみたい・・・と。

夏の野外研修でもう一度志賀高原を訪れたときのことです。木戸池から蓮池までの自然堪能コースを散策中にヒカリゴケが生息しそうな気配のする場所を通りかかりました。薄暗く、倒木や岩が作る洞窟や岩陰があるところです。それに適度に湿っています。(ヒカリゴケは人の気配を感じて逃げたりするワケないのですが、) あるかなあるかな・・・と思いながら、そっと岩陰に近寄ってみました。

「うわっ！」エメラルドグリーンに光り、絨毯のように広がるヒカリゴケが生えているではありませんか。心の中でガッツポーズ。「見れた、本物だ！自生しているものを初めて見た！」ちょっと感動でした。

学校の勉強もそうかも知れません。学校で学んだことが、生活で生かされていると感じたときの感動はひとしおです。学習したことと生活をつなげて自分が考えられたとき、ますますそのものの価値が上がったり、深く納得したりすることができます。そんな学習の繰り返しをこれからも児童生徒だけではなく、自分もしていきたい、このわくわく、はずむ気持ちをたくさん感じたい、感じさせたいと思いました。

※光る仕組み・・・ヒカリゴケは自力で発光しているのではなく、レンズ状の細胞をもっていて、暗いところにわずかに入ってくる光を反射することで光っているのです。レンズ状の細胞には葉緑体が多量にあるため反射した光はエメラルドグリーンに見えるのだそうです。




〒945-1355　柏崎市大字軽井川４８０３番地２（新潟産業大学キャンパス内）

※路線バスは、柏崎駅南口から新潟産業大学行きをご利用ください。

※車でお越しの方は、キャンパス内では徐行をお願いします。

イタリアの天文学者ガリレオ・カリレイのたゆまぬ創造と検証の精神にちなみ、教育センター所報を「GALILEI」と名づけています。

インターネット版は、「柏崎市教育情報支援システム」を検索し、トップ画面右上の所報「GALILEI」をクリックすると閲覧できます。

教育センター代表ＴＥＬ：０２５７－２３－４５９１
代表ＦＡＸ：０２５７－２３－４６１０
E-mail：k-center@city.kashiwazaki.niigata.jp
教育研究班・情報教育ＴＥＬ：０２５７－２３－１１６８
E-mail：kec@kenet.ed.jp
教育研究班（科学技術教育）ＴＥＬ：０２５７－２０－０２１２
E-mail：kagaku@kenet.ed.jp
教育相談班（ｶｳﾝｾﾘﾝｸﾞﾙｰﾑ）ＴＥＬ：０２５７－３２－３３９７
E-mail：soudan@kenet.ed.jp
教育相談班（電話相談）ＴＥＬ：０２５７－２２－４１１５
青少年育成センターＴＥＬ：０２５７－２０－７６０１
E-mail：ikusei@city.kashiwazaki.niigata.jp
教育情報支援システム URL：http://kedu.kenet.ed.jp

*平成２６年９月発*